

目かくし遮音フェンスGM型 端尺パネル現地加工要領書 (標準パネル)

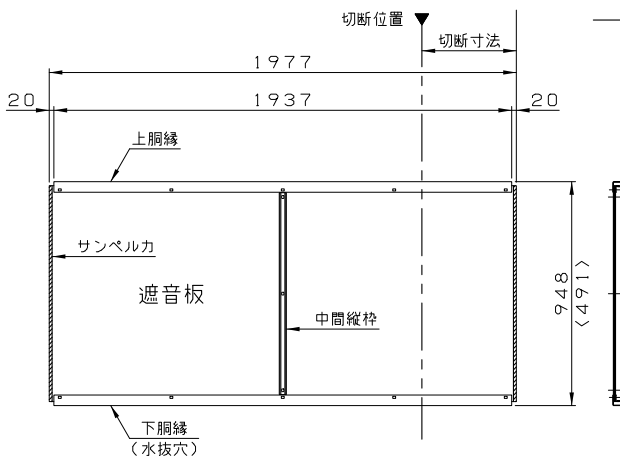
注意：パネル加工及び施工時、製品は直接地面に置かないで敷物を施してください。

手順

1. パネルの上下方向に注意し、表側（パネルのボルト側）を上面にして切断位置にマーキングする。（図-1 a）
（例 標準スパンが2000mmで端尺スパンが1700mmの場合、切断寸法は2000mm-1700mm=300mmです）
2. パネルの表側をチップソーカッターで切断し、裏側（ナット側）を上面に反転する。（図-2 a）
注）切断時は当板等を施し、遮音板にキズがつかないようにご注意ください。
3. パネル中間縦枠のボルトを緩めて、胴縁及び押えL型プレートはボルト・ナットを取外し、端部から20mmの位置を切断する。（図-3 a）
・パネルのボルト部に入っているスペーサーは再利用しますので紛失しないようにご注意ください。
・加工時の切粉等は確実に除去する。（不十分だと、もらい錆の原因となります。）
4. 胴縁及び押えL型プレートの端より25mmの位置にφ10のドリルで穴あけをする。切断、穴あけ箇所はバリ取りをして補修塗りを施す。
遮音板は所定位置にφ15のドリル又はホールソーで穴あけをする。（図-4 a）
5. 胴縁及び押えL型プレートを取外したボルト・ナットで組立する。（図-5 a）
注）ボルト部には既存のスペーサーを入れて組立ください。
6. 遮音板切断側 端部に同送のサンベルカを貼り付ける。（図-6 a）

手順図

図-1 a 定尺パネル 形状及び寸法



・ () 内はGEパネル、[] 内はGGパネル、< > 内はGE・GGパネルH491の場合を示す。

図-4 a 胴縁・押えL型プレート・遮音板の穴あけ

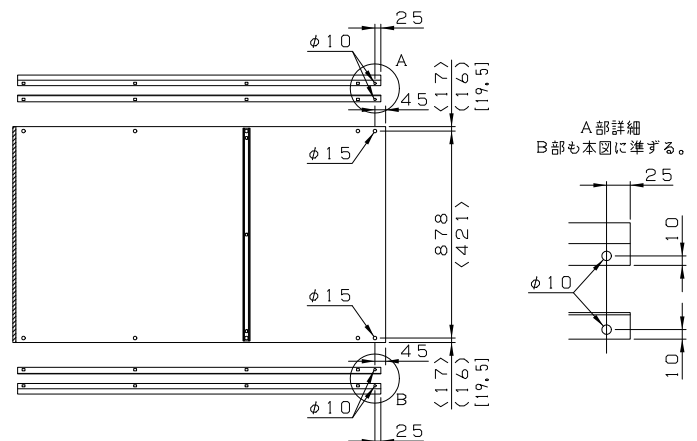


図-2 a パネル切断後、裏側を上面に反転する（ナットが上面）

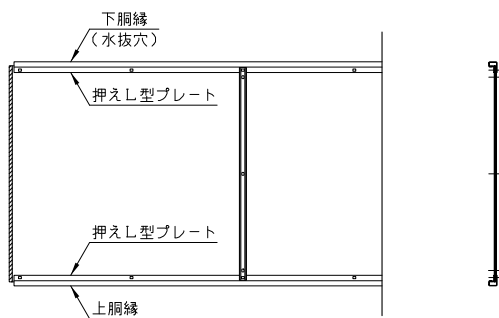


図-5 a 組立

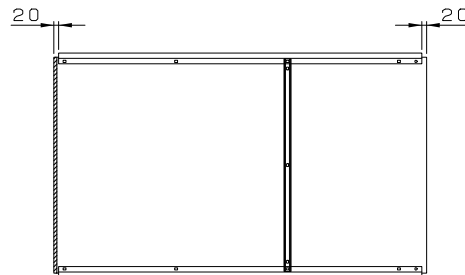


図-3 a 胴縁及び押えL型プレートの取外しと切断

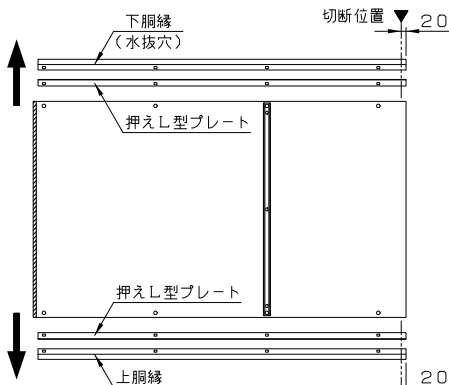
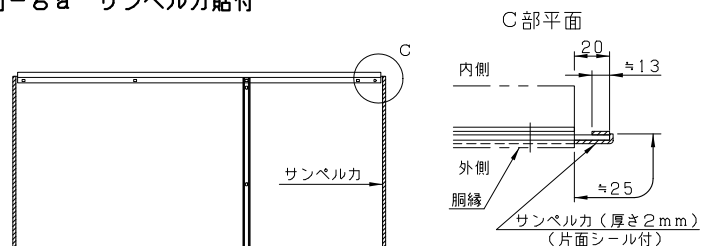


図-6 a サンベルカ貼付



※本図はGEタイプの場合を示す。GGタイプも、本図に準ずる。

目かくし遮音フェンスGM型 端尺パネル現地加工要領書 (コーナーパネル)

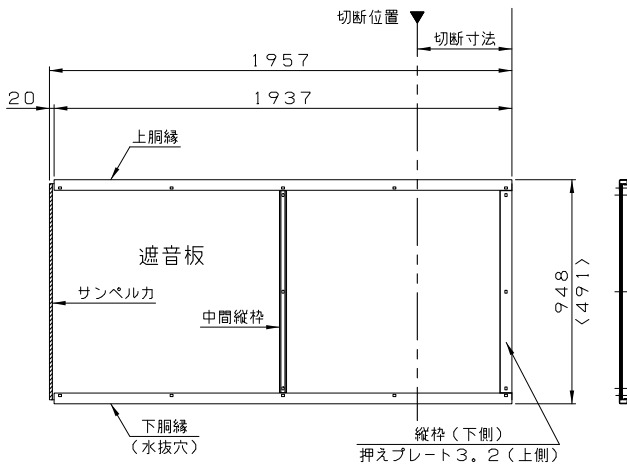
注意：パネル加工及び施工時、製品は直接地面に置かないで敷物を施してください。
 ・本コーナーパネルはコーナー側を切断加工する場合です。中間側で加工する場合は、標準パネルの加工要領（裏側）を参照ください。

手順

1. パネルの上下方向に注意し、表側（パネルのボルト側）を上面にして切断位置にマーキングする。（図-1 b）
切断位置は柱のパネル取付ボルトの寸法を実測の上、決定ください。
2. パネルの表側をチップソーカッターで切断し、裏側（ナット側）を上面に反転する。（図-2 b）
切断したパネル側の縦枠及び押えプレートを外す。部品は再利用しますので、紛失しないように注意ください。
注）切断時は当板等を施し、遮音板にキズがつかないように注意ください。
3. パネルの中間縦枠のボルトを緩めて、胴縁及び押えL型プレートはボルト・ナットを外して取外す。（図-3 b）
・加工時の切粉等は確実に除去する。（不十分だと、もらい錆の原因となります。）
4. 胴縁及び押えL型プレートの端より25 mmの位置にφ10のドリルで穴あけをする。切断、穴あけ箇所はバリ取りをして補修塗りを施す。
遮音板は所定位置にφ15のドリル又はホールソーで穴あけをする。（図-4 b）
5. 胴縁及び押えL型プレートを取外したボルト・ナットで組立する。又、端部の縦枠及び押えプレートを取付ける。（図-5 b）
注）ボルト部には既存のスペーサーを入れて組立ください。

手順図

図-1 b コーナー（L）用定尺パネル 形状及び寸法
(コーナー（R）用パネルも同要領です。)



・（ ）内はGEパネル、[]内はGGパネル、〈 〉内はGE・GGパネルH491の場合を示す。

図-4 b 胴縁・押えL型プレート・遮音板の穴あけ

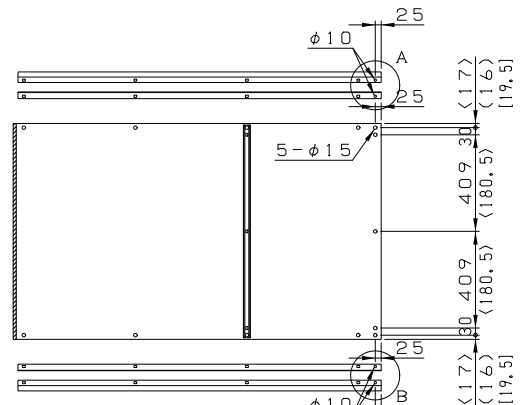


図-2 b パネル切断後、裏側を上面に反転する（ナットが上面）

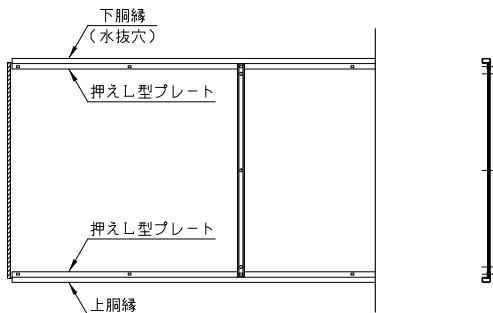


図-3 b 胴縁及び押えL型プレートの取外し

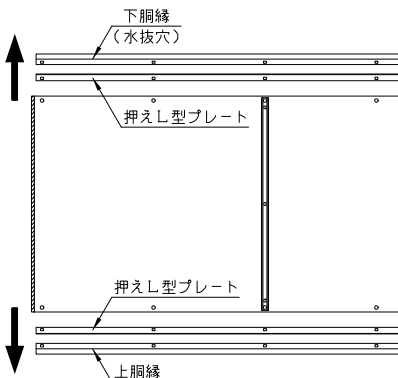


図-5 b 組立完成

